

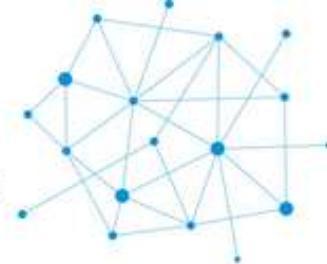
# 平成29年度活動報告

- 家庭用燃料電池「エネファーム」の普及拡大
  - 販売台数は累計約15000台、全国累計では約23万台(H29年末)
  - エネファーム全体の中でSOFCのシェアが拡大
- 技術研究所トピックス
  - 商用水素ステーション整備:新セントレア水素ステーション(仮称)を建設予定
  - 日本水素ステーションネットワーク合同会社に参画(11社合同)
- 固体酸化物形燃料電池(SOFC)の研究開発
  - 小型業務用(5~10kW)SOFCの開発(デンソー共同開発)
  - プロトン伝導セラミックス燃料電池PCFCの基礎研究(宮崎大共同研究)
- その他対外活動(水谷)
  - ①招待講演・依頼講演
    - 科学技術と経済の会(2018/01)
  - ②外部活動
    - 燃料電池実用化推進協議会(FCCJ) SOFCサブワーキング主査
    - NEDO燃料電池技術開発:定置用ロードマップ委員会、次期プロ調査研究委員会
    - 豊橋技術科学大学 非常勤講師「新エネルギー工学」
  - ③その他
    - 産業技術総合研究所無機機能材料研究部門客員研究員(プロジェクトコーディネート)  
「超高変換効率新規プロトン導電デバイスの開発」H30年度ステージゲート通過  
(産総研・パナソニック他。JFCCからはDr. Craig Fisher氏が計算化学で参画)

# H29年度トピックス

JAPAN H<sub>2</sub> MOBILITY  
**JHyM**

水素のネットワークを描げ  
クリーンなモビリティの普及を



TOYOTA NISSAN HONDA JXTGエネルギー

IDEMITSU

Iwatani

TOKYO GAS

東邦ガス

Air Liquide

丰田通商

DBJ  
日本政策投資銀行

JA3シリーズ

振興ジャパン日本興亜

SMFL

NEC  
NECキャピタルリユージョン株式会社

スルガ銀行・三井住友銀行



日本水素ステーションネットワーク合同会社  
(英語) Japan H<sub>2</sub> Mobility, LLC  
(略称) JHyM(ジェイハイム)  
(Webサイト) <https://www.jhym.co.jp>

水素ステーション整備



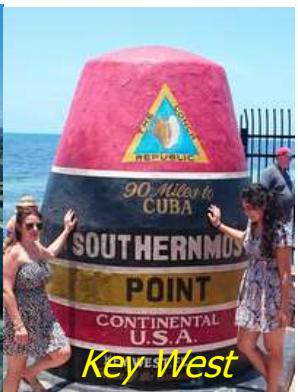
みなとアカルスに体験型業務用厨房ショールーム開設(2018年秋)

## みなとアカルス(スマートタウン)関連技術開発部門における取組み事例

- エネルギーシステム最適化
- 環境アセスメント(シミュレーション)
- エネルギーマネジメントシステム(最適運用計画)
- 電力需要・電力価格予測技術
- デマンドレスポンス実証実験
- 水素ステーションの建設・運用
- 業務用厨房VR体験デモ

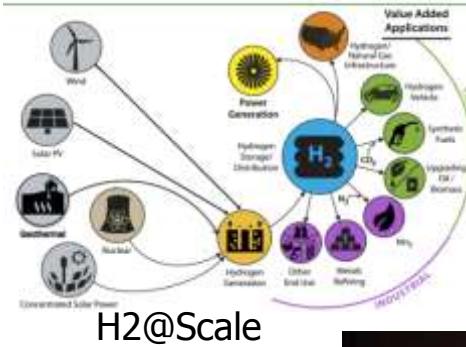
# H29海外調査より

## ■ SOFC-XVシンポジウム

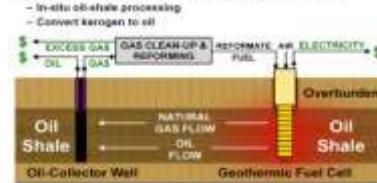


## ■ 2017 Fuel Cell Seminar

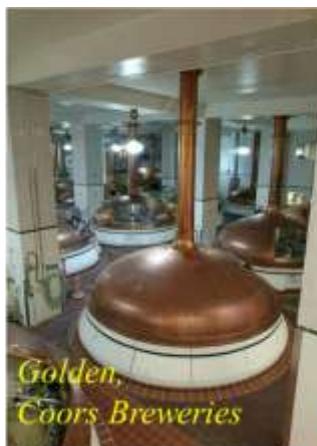
### H<sub>2</sub> at Scale Energy System



Objective: Harness HEAT liberated from fuel cells to make oil



Geo-thermal FC



# 2018年のエネルギー展望（どのような年になるか）

